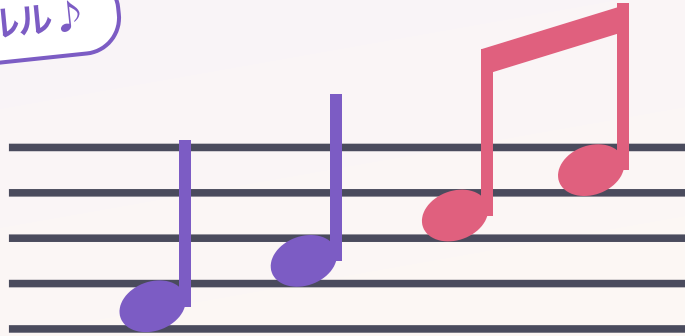


トリルル♪



音がかさなっていく！

バロック

かざりゆたかな響きが生まれた時代



この教材の使い方

1

声と体で感じる

音楽は、歌ったり手をたたいたりするほど身につきます。気になったところは、何度でも声に出してみましょ

2

本物の音を聴く

この教材に出てくる曲や楽器は、音源や動画でも聴いてみましょう。耳で知ると、理解がぐっと深まりま

3

「やってみよう」は手と体で

答えは30ページにあります。正解がひとつではない問題もあります。自分の感じ方を大切にしましょう。



Ken (ケン)

音楽が好きな中学生。ギターを始めたばかり。



Emma (エマ)

カナダから来た留学生。ピアノが得意。

もくじ

バロックの入り口	3～5
バロックのしくみ	6～9
作曲家と音楽	10～15
バロックを聴く・楽しむ	16～19
練習しよう	20～24
ふり返り	25～30

バロック時代とは

バロックは、クラシック音楽の歴史のいちばんはじめの大きな時代です。

バロックとは、およそ1600年から1750年ごろまで続いた、ヨーロッパの音楽の時代です。

教会や宮廷の中で、かざりゆたかで力強い音楽が生まれました。オーケストラやオペラ、協奏曲のもとになる形も、この時代につくられていきます。



バロック時代のできごと

オペラの誕生

協奏曲のはじまり

チェンバロの活やく

教会音楽の発展

「バロック」はもともと、ゆがんだ真珠を意味する言葉から来ているといわれています。

ポイント

- この時代のあとに、「古典派」とよばれる時代が続きます。
- バッハやヘンデル、ヴィヴァルディなど、今も名前が残る作曲家が活やくしました。

やってみよう

- 「バロック」という言葉を聞いたことがありますか。_____
- 教会や宮廷での音楽と聞いて、どんな響きを想像しますか。

書いて覚えよう

チェンバロ

ピアノより前に活やくしていた、鍵盤楽器の主役です。

チェンバロ

harpsichord / クラヴサン

弦をはじいて音を出す鍵盤楽器

Emma

チェンバロは鍵盤をおすと、中で弦がはじかれる仕組みなんだよ。



Ken

ピアノとちがって、強く弾いても音の大きさが変わらないんだね。

ポイント

- ピアノとちがい、強くひいても弱くひいても音の大きさがほぼ変わりません。
- きらきらとした、はっきりした音色が特ちょうです。

やってみよう

1. チェンバロとピアノの音のちがいを、聴いて感じたことを書こう。

書いて覚えよう

ロック音楽を下からささえる、大切なしくみです。

いくつかの旋律が、同時に独立して進んでいくしくみです。

counterpoint／ポリフォニー

複数の独立した旋律を同時に組み合わせる作曲の技法

ポイント

- 1つの主役の旋律だけでなく、いくつもの声部が同時に主役級に動きます。
- 合唱で声部が追いかけ合うのも、対位法の身近な例のひとつです。

やってみよう

1. 友だちと2人で、少しずつして同じ歌を歌ってみよう（輪唱）。
2. 重なって聴こえた感じを書こう。

書いて覚えよう

1つの旋律が、次々に声部を追いかけていく形式です。

fugue

1つの主題（テーマ）を、複数の声部が順番にまねしながら進む曲の形

ポイント

- 最初に1つの声部が主題を弾き、次の声部が少し遅れてそれをまねします。
- 声部が重なっていくことで、複雑で立体的な響きが生まれます。
- バッハは、フーガの名手として知られています。

やってみよう

1. 「フーガ」の名前を聞いたことがありますか。

書いて覚えよう

J. S. Bach (1685~1750)

ドイツの作曲家。対位法とフーガの名手として知られる

教会のオルガン奏者として活やくし、たくさんの教会音楽やフーガを作曲しました。数学のように精密に組み立てられた曲の構造が、大きな魅力です。

- ドイツの音楽一家に生まれ、一生をドイツで過ごしました。
- 「音楽の父」とよばれることもあります。

1. バッハの曲を1曲、探して聴いてみよう。

バッハと同じ時代に活やくした、2人の作曲家です。

バッハと同じ時代に活やくした、2人の作曲家です。

Handel (1685~1759)

Vivaldi (1678~1741)

10

四季を聴く

ヴィヴァルディがつくった、季節を音で表した名曲です。

「四季」というバイオリン協奏曲

グィヴァルディの「四季」は、春・夏・秋・冬をそれぞれ1つの協奏曲で表した作品です。鳥の声や雷、風など、自然のようすを音楽で描いています。

ポイント

- 1つの楽器（独奏バイオリン）とオーケストラが対話するように進みます。
- 季節ごとに曲の速さや雰囲気がはっきり変わります。

やってみよう

1. 「春」の部分聴いて、どんな景色を思いうかべたか書こう。

書いて覚えよう

協奏曲の誕生

独奏楽器とオーケストラがかけ合う形は、バロック時代に生まれました。

合奏協奏曲

concerto grosso

少人数のグループと、オーケストラ全体がかけ合う協奏曲の形

ポイント

- バロック時代に、独奏（少人数）と合奏の対比を楽しむ協奏曲の形ができました。
- この形が、のちの独奏楽器1つとオーケストラの協奏曲へと発展していきます。

やってみよう

1. 「かけ合い」という言葉から、どんな音楽を想像しますか。

書いて覚えよう

組曲と舞曲

おどりのリズムをもとにした曲を、いくつも組み合わせたものです。

アルマンド

おだやかな4拍子のおどり

クーラント

軽やかに流れる3拍子のおどり

サラバンド

ゆったりとした重みのある3拍子のおどり

ジーク

はずむようなテンポの速いおどり

ポイント

- 組曲は、性格のちがう舞曲をいくつも並べてつなげた曲です。
- 実際にダンスをするためではなく、聴くための音楽として書かれたものもあります。

やってみよう

1. 4つの舞曲のうち、聴いてみたいのはどれですか。

書いて覚えよう

バロック時代、教会は音楽の大切な発表の場でした。

cantata

合唱と独唱、オーケストラのための教会音楽

oratorio

劇のように物語をもつ、大きな合唱作品

- 教会には大きなパイプオルガンが備えられ、礼拝の音楽を support しました。
- 作曲家の多くは、教会の音楽家として働きながら曲を書いていました。

1. 教会音楽と聞いて、どんな響きを想像しますか。

歌と芝居が合わさった舞台芸術は、バロックの初期に生まれました。

opera

歌によって物語を演じる、音楽劇

- 1600年ごろ、イタリアでオペラという形が生まれました。
- せりふのかわりに、歌で気持ちや物語を伝えるのが大きな特ちょうです。
- その後ヨーロッパ各地に広まり、今も新しい作品が生まれています。

1. 歌だけで物語を伝えとしたら、どんな場面をえらびますか。

バロックの楽器

今とは少しちがう楽器が、バロックの響きをつくっていました。

楽器	今とのちがい	使われ方
チェンバロ	弦をはじく鍵盤楽器	通奏低音の中心
リコーダー	木でできた縦笛	やわらかい音色の旋律楽器
ナチュラルトランペット	バルブがない金管楽器	祝いの場面で活やく
バイオリン族	現在とほぼ同じ形	合奏の中心的な楽器

ポイント

- まだピアノは生まれたばかりで、チェンバロが主役の時代でした。
- 楽器の作り方が今と少しちがうため、音色にも独特の味わいがあります。

書いて覚えよう

バロックの装飾音

音符に、細かいかざりを加えるのがバロックの流儀です。

トリルのイメージ



1つの音のまわりを、となりの音とすばやく行き来するかざりを「トリル」とよびます。

装飾音

ornament / オーナメント

旋律にそえる、細かいかざりの音

ポイント

- トリルのほかにも、さまざまなかざり方がバロック音楽にはあります。
- 演奏者が、その場でかざりを加えることもよくありました。

やってみよう

1. 「ド・レ・ド・レ・ド」を声に出して、すばやく言ってみよう。

書いて覚えよう

今に生きるブロック・ブロックの名曲めぐり

ブロックの響きは、今もいろいろな場所で聴くことができます。

結婚式で

パッヘルベルのカノンなどがよく使われる

映画やCMで

力強い合奏の響きがよく使われる

ジャズの中で

低音がくり返される考え方が受けつが
れている

「四季」

ヴィヴァルディの、季節を描いた協奏曲

「水上の音楽」

ヘンデルが作曲した、管弦楽のための組曲

「G線上のアリア」

バッハの曲をもとにした、おだやかな
旋律

ポイント

- 300年ほど前の音楽ですが、今の暮らしの中でも自然に耳にしています。
- 名曲めぐりの中から、気になる1曲を見つけてみましょう。

やってみよう

1. 上の6つのうち、聴いてみたいものを1つえらぼう。

書いて覚えよう

実際にやってみよう・ペアやグループで練習しよう

低音のくり返しを、手拍子でやってみよう。

A (低音役) タン・タン・タン・タン、と一定にたたく

B (旋律役) 自由なリズムで手をたたく

A (続ける) そのままりズムを保つ

B (新しいリズムで) _____

A (続ける) くずさずに合わせる

B (終わりの合図) _____

ポイント

- Aが通奏低音、Bが旋律の役になって、重ねる感覚を体験する遊びです。
- Aのリズムがぶれないことが、この遊びのいちばんのコツです。

ワンポイント 低音がしっかりしていると、上の旋律は自由に動いても音楽がくずれません。

書いて覚えよう

ブロックが聴きなれない人も、コツをつかめば楽しめます。

よくあること

同じリズムが続くから

何を聴けばいいかわからない

こうしてみよう

くり返しを楽しむ

残りは自然に耳に入ってくる

- 「全部を一度に聴こう」とせず、1つずつ注目すると聴きやすくなります。
- くり返し聴くうちに、はじめは気づかなかった声部が聴こえてきます。

1. 次にバロックの曲を聴くとき、注目したい部分を1つ決めよう。

書いて覚えよう

用語をおさらい

この教材で出てきた言葉を確認しよう。

しくみ

☐ 通奏低音

曲を通してささえる低音の役目

☐ 対位法

複数の旋律を同時に組み合わせる

☐ フーガ

主題を声部が追いかけていく形

作曲家

☐ バッハ

対位法とフーガの名手

☐ ヘンデル

オペラや合唱曲で知られる

☐ ヴィヴァルディ

協奏曲を多く作曲した

楽器

☐ チェンバロ

弦をはじく鍵盤楽器

☐ 通奏低音楽器

チェロなどの低音楽器

音楽の形

☐ 組曲

舞曲を組み合わせた曲

☐ 協奏曲

独奏とオーケストラのかけ合い

☐ オペラ

歌で物語を演じる音楽劇

ワンポイント 覚えた言葉に✓をつけよう。言葉を知ると、バロックの曲がもっと聴きやすくなります。

書いて覚えよう

復習クイズ

ここまでの内容をチェックしよう。

1. 言葉と意味を線でむすぼう

- | | | |
|------|---|------------------------|
| フーガ | ● | ● ア. 曲をささえる低音の役目 |
| 通奏低音 | ● | ● イ. 舞曲を組み合わせた曲 |
| 組曲 | ● | ● ウ. 歌で物語を演じる音楽劇 |
| オペラ | ● | ● エ. 複数の旋律を同時に組み合わせる技法 |
| 対位法 | ● | ● オ. 主題を声部が追いかけていく形 |

2. 空らんに入る言葉を書こう

1. 弦をはじいて音を出す鍵盤楽器は、_____。
2. 1600～1750年ごろの音楽の時代を、_____とよぶ。

3. 正しいほうに○をつけよう

1. 曲をささえる低音の役目 → (通奏低音 / 主旋律)
2. 対位法とフーガの名手 → (バッハ / ヴィヴァルディ)

書いて覚えよう

ブロックの曲を1曲、聴いて1日をスタート

低音のくり返しに耳をすませる

机を一定にたたいてリズムをつくる

気に入った作曲家を1人書き出す

聴いた曲の感想をノートに書く

家族にヴィヴァルディの「四季」を紹介する

ポイント

- 1回5分でも、毎日続けることがいちばんの力になります。
- 同じ曲を何度も聴くと、声部の重なりに気づきやすくなります。

書いて覚えよう

発表してみよう・感想を書こう

好きなバロックの曲を、人に伝えてみよう。

曲名

作曲家

好きなところ

聴こえた楽器

聴いてほしい人

Emma の例

曲名 「四季」より春／作曲家 ヴィヴァルディ／好きなところ 鳥の声のような旋律／聴こえた楽器 バイオリン／聴いてほしい人 自然が好きな友だち

感想を3文で書こう

① この曲は、～な感じがしました。② とくに、～のところが印象に残りました。③ それは、～からです。

書いて覚えよう

もっと知りたい人へ・次のステップ

バロックの世界は、ここからどんどん広がります。

もっと知りたい人へ

動画で

チェンバロの演奏をじっくり見る

図書館で

作曲家の本を借りてみる

演奏会へ

バロック音楽の演奏会をさがす

次のステップ

古典派

バロックの次の時代を知る

フーガ

対位法をもっと聴きこむ

作曲家

1人をくわしく調べる

ポイント

- この教材の次は「古典派」。ハイドン・モーツァルト・ベートーヴェンの時代へ進みます。

書いて覚えよう

この教材で学んだことを、自分の言葉でまとめよう。

この教材で学んだことを、自分の言葉でまとめよう。

3. これから聴いてみたい曲は？

できたミッションに✓をつけよう： ☐1 ☐2 ☐3 ☐4

29

バロックチャレンジ

教室の外でも、バロックの響きはすぐに楽しめます。

見つけよう

街やお店で流れているバロック風の曲
をさがす

聴こう

四季のうち好きな季節の部分を聴く

表そう

一定のリズムを手拍子でつくってみる

こたえ

L26 フーガ→オ 通奏低音→ア 組曲→イ オペラ→ウ 対位法→エ
2. チェンバロ / バロック 3. 通奏低音 / バッハ

L33 (例) バロックは、1600～1750年ごろの、通奏低音とかざりが特ちょうの音楽の時代。

書いて覚えよう

バロック (Season 6 | No.53)

発行：一般社団法人文化芸術支援協会

この教材の著作権は一般社団法人文化芸術支援協会に帰属します。個人の学習および家庭内での利用に限り、閲覧・保存・印刷ができます。

有料の講座・塾・研修での使用、販売・再配布、改変しての公開、生成AIへの入力などの商用利用は禁止しています。

くわしくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。